

## 唐津焼②唐津焼の歴史

～唐津焼はいつ始まった？～

唐津焼は近年の研究では1580年代に岸岳山麓で始まったとされています。以前はもっと古くから、例えば室町時代（1336～1573）に始まったという説もありました。しかし城跡など全国の遺跡の発掘調査で唐津焼が発見され、発掘された建物の使われた年代や一緒に出てくる他の焼き物の年代からすると1580年代ごろから始まったと判断されるようになりました。

茶人として有名な千利休は1591年に亡くなっていますが、「ねの子餅」と名付けた唐津焼の茶碗を持っていましたので、唐津焼は少なくとも1591年以前に始まっていたことが分かります。壱岐の聖母宮には天正20年（1592）銘の四耳付きの壺があります。

また唐津焼の名前が最初に記録に出てくるのは『織部茶会記』の慶長8年（1603）が最も古いとされます。大名であり茶人であった古田織部の茶会に唐津焼が使われたことが分かります。

岸岳の山麓には飯洞甕下窯跡、飯洞甕上窯跡、帆柱窯跡、皿屋窯跡、皿屋上窯跡などの窯跡が残されており、唐津焼の始まりを知る貴重な文化財として史跡に指定されています。

また唐津市町田には同じく史跡に指定されている御茶碗窯跡があり、江戸後期の窯の様子が分かります。

これらの窯跡は唐津焼の歴史を解明する大切な遺産ですので、大切に保存しなければなりません。

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など



町田(旧唐人町)にある御茶碗窯跡

(『唐津探訪』より)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆※室町時代説『古唐津上』p33 水町和三郎 著 1973年 出光美術館
- ◆『角川陶磁大辞典』 2002年 角川書店
- ◆『土の美 古唐津一肥前陶器のすべて』 2008年 佐賀県立九州陶磁文化館
- ◆『窯別ガイド 日本のやきもの 唐津』大橋康二 著 2003年 淡交社
- ◆『唐津焼の研究』中里逢庵著 2004年 河出書房新社
- ◆「特集”唐津”の魅力」『炎芸術 No103』 2010年 安部出版

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)